

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表・令和5年度

		チェック項目	はい	どちらか も いい ない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等入居との関係で適切であるか	6			・活動内容によって必要じゃないものを片付け、安全にスペースを確保している。 ・着替えスペースは固定できませんがパーテーションのある所を簡易的に着替え用に使います。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			・児童発達管理責任者1名・作業療法士1名 ・保育士又は児童指導員6名 (児童2名に対し、職員1名で配置)
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	3	・3階まで階段ですが、手すりがあり、滑り止めなど工夫している。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・月1回の職員会議→業務改善(問題点・振り返り) ・毎日の連絡会で全職員に共有
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・保護者等向け評価表を実施して、意向等を把握し業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・自己評価は毎年、ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	2	・第三者委員は設置していないが、マニュアルは作成し活動は行っていない。 必要が出た時には、(株)あやめに要請する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・資質向上の為に研修を月に2回 ・運動療育の為に研修を月に1回 ・不定期に行われる研修に積極的に参加している
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・見学、体験、アセスメントを行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・wisk、田中ビネー、発達検査、知能検査を行った児童の保護者から共有させていただいている。
	⑪	活動プログラム立案をチームで行っているか	6			・月に一回運動プログラム会議を行い立案(運動療育チーム) ・イベント等の活動は個別に立案し、職員同士で検討。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・楽しめるか?・どんな療育効果があるか?・危険はないか?などを検討し、固定化しないよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・療育的効果の設定
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・生活スキル・社会性を身につけられるようスモールステップから支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・送迎担当の確認・児童の様子の共有・申し送り事項など毎日の連絡会でやっている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			・連絡ノート、児童それぞれの連絡シートに記入や報告し共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		1	・行っている。
保 護 者 へ の 説 明	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6			・行っている。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時の説明と入口に掲示している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・送迎時や電話、直接の面談を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	・過去のアンケートにより保護者からの強い希望があるわけではなく様子を見ながら行っていく。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		・行っているが、連絡ミスなどで児童に送迎車を待ってもらうことがある
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	3	・該当児童なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		・保護者より情報を頂いている。 ・支援会議での情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		・相談事業所に情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・グループの4教室代表で1名が参加し、情報を共有している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	・コロナなど感染症の心配がある為、今後は慎重に計画していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	・情報を収集して参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡帳や送迎時、LINEで共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	・本格的なペアトレーニングではないが、ニーズによってアドバイスを行っている。
非常時等の対応	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・必要に応じて迅速かつ適切に対応するよう努める。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・利用カレンダー兼お便りを月に一度発行し、行事を記載しておりラインで写真を送り活動概要として発信している。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6			・種類に応じてイニシャルを使っている。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・記録を残し口頭、直接情報伝達のための配慮をしている。
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	3	・行っていないが必要であれば検討。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		1	・研修を受け職員には共有できているが保護者への周知はできていない。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・避難訓練を年に2回行っている。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・全職員が研修を受けて、適切な対応を行っている。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか	6			・行っている。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		・保護者と情報を共有し徹底している。
㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・行っている。	